

スウェーデンマルメ研修に参加して

日本橋すこやか歯科

林 絵美

スウェーデンの医療哲学を学ぶこのような機会に参加できたことに感謝しております。歯科衛生士として働き始めてからスウェーデンの歯科医療は国や国民の意識が日本と違うことを知り、さらにはスウェーデン研修に参加した方々から「行って感じたほうが良い」と聞き、ずっと自分の目で見て学びたいと思っておりました。

実際にマルメ研修に参加し素晴らしい講師の方々のお話を聞き、歯科医療の本質を学び、教育や国の政策を聞くことができ、とても解りやすく正しい事が明確であると感じました。さらに、実習では丁寧に技術を教えていただき質問にも答えて頂き本当に充実した時間になりました。そして訪問した病院でお会いした衛生士の方々から多くの話を聞く事ができその内容や働き方がプロとして魅力的であり、5日間を通して憧れのスウェーデンで学ぶ事で得るものがたくさんありました。

その中で学校教育においては「問題解決型学習法」のPBLとゆう教育システムを聞き、教わるのではなく問題に対して自分で考え知識や技術を両方学びながら進めていく方法や、実習では患者さんに対してDr・DTとチームを組んで治療計画をディスカッションしながら持っている知識を活性化する事で自分のものにしより実践に対応できる人材が育つとゆう事や、卒業後の衛生士は即戦力であり個室を与えられて患者さんを診ていくという事実に驚きました。プロとしての責任感も備わっている素晴らしさも感じました。そして、チームで診ていく上でスウェーデンでは健康に対して患者さんが参加する事が法律で決まっているというお話もありました。必ずリスク評価しエビデンスに基づいた情報を共有し、健康増進に国も医療従事者も患者さんも全員で向いているその環境が素晴らしくそしてその形が当たり前であるという事に感動しました。

これから患者さんや日本の歯科医療に対して人として衛生士として何が出来るのか考える上で、今回の研修で得た知識や感じた事を繋げて実践していきたいと思えます。たくさんの素晴らしい考え想いに触れることができ出会えた方々に感謝いたします。

本当にありがとうございました。